

※対面形式により開催します。

・定員は対面 80 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。

1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。

個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。

・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。

なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

~~~~~  
令和 7 年 12 月 吉日

各 位

軟弱地盤研究会（第 209 回）のご案内

軟弱地盤研究会  
会長 日野剛徳

日 時：令和 8 年 1 月 2 3 日（金） 1 4 時～ 1 6 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：【対面】佐賀県建設技術支援機構 3F 研修室

（〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 TEL 0952-97-5595）

<https://goo.gl/maps/KP7Cx7ni8ZqhPE5B6>

駐車場は外部駐車場をご利用ください（添付資料を参照）。

話 題：老朽化した農業用ため池の現状と課題および今後の持続的な改修技術開発への展望

講演者：防衛大学校 システム工学群 建設環境工学科 教授 佐野 博昭 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

農業用ため池は、降水量が少なく、大きな河川に恵まれない地域などで主に農業（灌漑）用水を確保するために利用されているが、現在、老朽化が進行していることから改修工事が行われている。これまでは、ため池近傍から確保できる良質な土材料を用いてため池堤体は構築されてきたが、最近では判定の目安を満足する十分な量の築堤材料を確保することが困難となっている。また、ため池管理者の高齢化が進み、日常の維持管理に支障をきたす恐れが生じている。そこで、本報告では、今後の農業用ため池のあり方について考察を行うものである。

※参加希望の方は 1/16（金）・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

=====  
軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聡容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: [asgt@sagacat.or.jp](mailto:asgt@sagacat.or.jp)

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地（公財）佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603  
=====